

# 環境構築

# 目次

- astah\* professional
  - astah\* professionalインストール
  - ライセンス登録
  - MDDプラグイン追加
- Arduino IDE
  - Arduino IDEインストール
  - 実習に使用するライブラリ登録

# astah\* Professionalのインストール

下記URLにアクセスしてお手持ちの環境にあったインストーラをダウンロードしてインストールしてください。

[http://members.change-vision.com/files/astah\\_professional/6\\_8\\_0](http://members.change-vision.com/files/astah_professional/6_8_0)

Windowsの場合はインストーラを実行し指示に従ってインストールしてください。

Macの場合は

<http://astah.change-vision.com/ja/feature/astah-on-mac.html>

を参照してください。

# ライセンス登録-1

次にastah\* Professionalのライセンスを登録します。  
今回使用するライセンスはLED-Camp2用となっています。  
**LED-Camp2参加者以外に配布することはできません。**  
8/1～10/31まで期間限定で使用することができます。

astah\* Professionalの無償ライセンスはLED-Camp2参加者のみへの提供となります。  
有償ライセンスの導入に興味がある／購入を希望される方は、  
株式会社チェンジビジョン様にお問い合わせください。

<http://astah.change-vision.com/ja/>

下記のボタンからライセンスキーをダウンロードして下さい

ライセンス番号	66326
お名前	LED-Camp2 参加者向けライセンス
会社/学校/組織名	京都大学大学院情報学研究所
プロダクトタイプ	astah* professional
ライセンスタイプ	期間製品ライセンス(3ヶ月)
ライセンス有効期間	2014/08/01 ~ 2014/10/31
サポート期間	2014/08/01 ~ 2014/10/31

ダウンロード

キャンセル

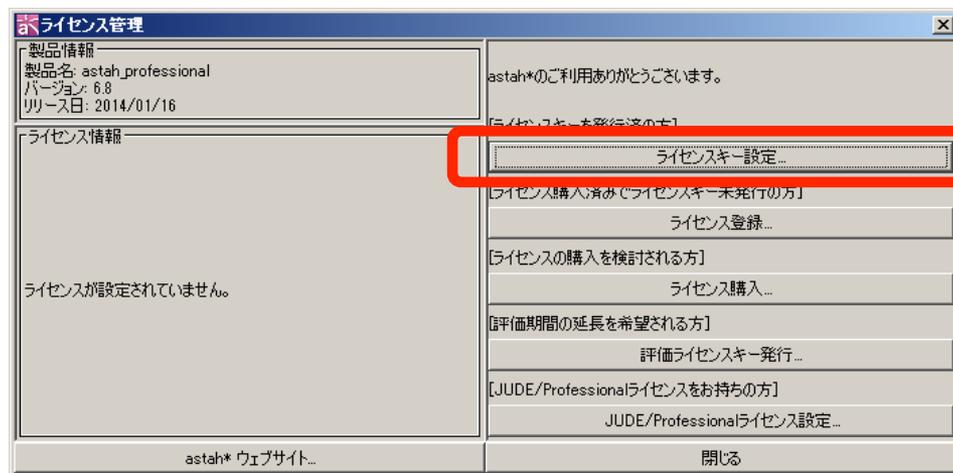
# ライセンス登録-2

astahを起動すると、下図のようなダイアログが出てきます。

ライセンスキー設定ボタンをクリックして、先ほどダウンロードしたxmlファイルを指定してください。

これでライセンス登録は完了です。

※ダイアログが出ない場合「ツール->ライセンス設定」を選択してダイアログを表示してください。



# MDDプラグイン追加-1

LED-Camp2の実習ではastahで作成したモデルからソースコードを自動生成します。そのためのプラグインを追加します。

下記URLに示すファイルをダウンロードし、解凍してください。

<http://swest.toppers.jp/LED-Camp/Camp2/software/astahm2t-1.1.jar>

# MDDプラグイン追加-2

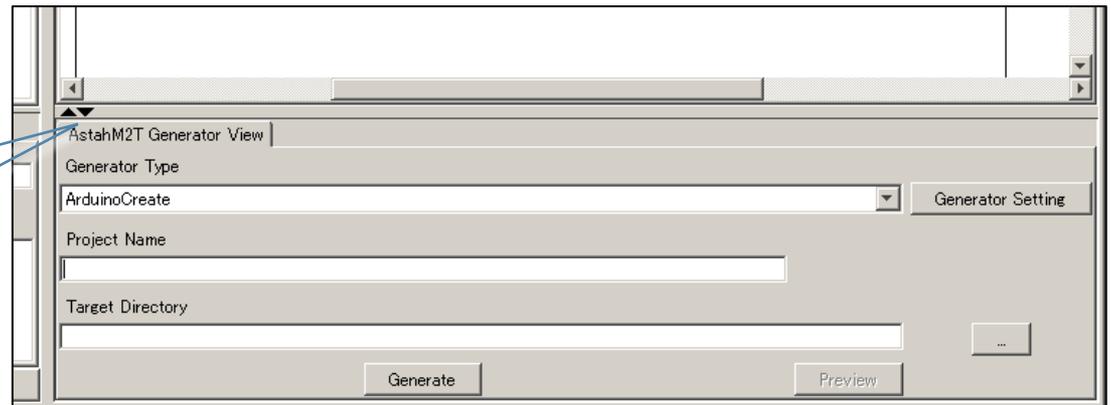
astahを起動して、「ヘルプ -> プラグイン一覧」を選択すると下図のようなダイアログが表示されます。左上にあるインストールボタンをクリックし、先ほどダウンロードした「astahm2t-1.1.jar」を選択して、astahを終了してください。



# MDDプラグイン追加-3

astahを起動して、何かモデル図を新規作成し、下記のような画面が出ていれば追加完了です。

画面が表示されない場合、タブが非表示になっている場合があります。▲をクリックしてみてください。



# Arduino IDEインストール-1

下記URLにアクセスします。

<http://arduino.cc/en/Main/Software>

Arduino IDE 1.0.5を環境に合わせてダウンロードして、任意のフォルダにインストールしてください。

## Arduino 1.0.5

Download

Arduino 1.0.5 ([release notes](#)), hosted by [Google Code](#):

NOTICE: Arduino Drivers have been updated to add support for Windows 8.1, you can download the updated IDE (version 1.0.5-r2 for Windows) from the download links below.

- [Windows Installer, Windows ZIP file \(for non-administrator install\)](#)
- [Mac OS X](#)
- [Linux: 32 bit, 64 bit](#)
- [source](#)

# Arduino IDEインストール-2

Arduinoのデフォルトの作業ディレクトリは

Windowsの場合 C:\Users\`(ユーザ名)`\Documents\Arduino

Macの場合 /Users/`(ユーザ名)`/{書類,Documents}/Arduino

となっています。

このディレクトリにArduino IDEで作成したプログラムが置かれます。

また、ライブラリを追加する場合、librariesの中にライブラリを格納してArduino IDEに追加をします。

# 実習に使用するライブラリの登録-1

今回の実習では、iRobot Create、FlashAirを使用します。  
これらをArduinoで使用するために、ライブラリを用意しました。  
このライブラリをArduino IDEに登録して使用できるようにします。

まず、下記のファイルをダウンロードしてください。

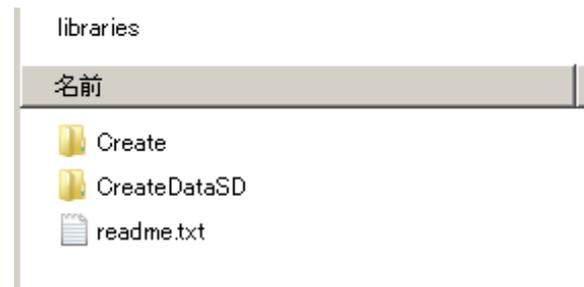
[http://swest.toppers.jp/LED-Camp/Camp2/software/  
arduinoCreateLib.zip](http://swest.toppers.jp/LED-Camp/Camp2/software/arduinoCreateLib.zip)

# 実習に使用するライブラリの登録-2

ダウンロードしたライブラリを解凍すると以下の2つのフォルダが格納されています。

- Create
- CreateDataSD

これらのディレクトリを、  
「(Arduino作業ディレクトリ)\libraries」  
の中に格納します。



# 実習に使用するライブラリの登録-3

Arduino IDEを立ち上げ

「スケッチ->ライブラリを使用」

を選択するとライブラリが追加されていることがわかります。この状態でメニューバーから使用したいライブラリを選択すると、対応するライブラリのincludeが追加されます。

これでライブラリの登録は完了です。

